2007 年度　京都大学　前期文系　第 1 問 (2)

問題　四角形 ABCD を底面とする四角錐 OABCD を考える。点 P は時刻 0 では頂点 O にあり，1 秒ごとに次の規則にしたがってこの四角錐の 5 つの頂点のいずれかに移動する。

規則： 点 P のあった頂点と 1 つの辺によって結ばれる頂点の 1 つに，等しい確率で移動する。

このとき，n 秒後に点 P が頂点 O にある確率を求めよ。

N_kyoto2007A_61_02.pbm